**審　査　申　立　書**

令和３年●月●日

大阪検察審査会　御中

申立人　　　　　　　　　（印）

申立人の表示　　　別紙目録記載のとおり

申立人は、下記の公訴を提起しない処分に不服があるため、検察審査会法第３０条に基づき、貴会に対し、その処分の当否の審査を申し立てます。

　第１　罪状

　　　　強制わいせつ罪

　第２　不起訴処分年月日・事件番号

　　　　令和３年●月●日（令和３年検第●●●●号）

　第３　不起訴処分をした検察官

　　　　大阪地方検察庁　検察官　検事　●●　●●

　第４　被疑者

　　　　氏名　●●●●

　　　　年齢　●●歳（昭和●●年●●月●●日生） 　　　　職業　不詳

　　　　住居　不詳

　第５　被疑事実の要旨

　　　　（省略）

　第６　不起訴処分を不服とする理由

　　　　（省略）

被疑者は、前記のとおり、以前から極めて行状が悪く、本事件の後も、一切の謝罪や反省が無いため、そもそも、本件事件の犯罪構成要件を満たし、不起訴は、不相当です。

けだし、今後さらなる犯罪を犯すおそれがあり、明白かつ、現在の危険という体感治安の悪化を感じ、泰然として日常生活を送ることもままならないため、厳正に捜査した上で、厳重な処罰をしていただきたく、本件、起訴当否の審査を申し立てる次第です。

以上

証拠資料

１ 処分通知書　写し　１通

　　　　　　　　　　　　　　　　　　（別紙）

申　立　人

　　資　格　　　告訴人（被害者）

　　住　居　　　〒　　－

　　　　　　　　大阪府

　　　　　　　　●●マンション●●号室

　　電話番号　　ＸＸＸ－ＸＸＸＸ－ＸＸＸＸ

　　年　齢　　　●●歳

（平成　　年　　月　　日生）

　　職　業　　　学生

　　氏　名